

社会・労働関係文献月録

・分類表は1991年5月号に掲載されています。
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等（葉書・FAX・e-mail 可）で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引いたします。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305
 東京都町田市相原町 4342 (〒 194-0298) F. 042-783-2311

2001. 6. 1 ～ 2001. 6. 30 受け入れ分

(文献資料名) (著 者 名) (収録誌名) (巻一号) (月 号)
 ＊印単行書の場合→ (発 行 所) (判・頁) (刊行年月)

I 理論・一般

0. 総 記

特集 労働問題研究の現在－1980～2000年（3）	大原社会問題研究所雑誌	504	00.11
労働組合（井上雅雄）中小企業の労働問題（猿田正機）			
20世紀の社会主義と21世紀への展望	藤田 勇	経済	64 01.1
地域の自前性をいかに高めるか	井上赫郎	社会運動	248 00.11
特集 マルクス2000－第二回マルクス国際会議報告集	情況	1-3	00.11月別冊
社会主義，共産主義，人間性（ジャック・ビデ 訳：竹永進）			
マルクスにおける経済主義批判と経済主義（ジャン＝マリー・ヴァンサン 訳：仲正昌樹）他			
＊ジェンダー・ノート	樋脇由利子	花書院	A5.79 00.4
＊ジェンダー秩序	江原由美子	勁草書房	B6.435 01.4
＊少子化時代のジェンダーと母親意識	目黒依子，矢澤澄子編	新曜社	A5.224 01.2
＊ジェンダーフリーを共同で学ぶ 学びを行動にうつす女たちの会		新水社	B6.206 01.3
＊女という文字，おんなということば	川田文子	明石書店	B6.219 00.9
＊福祉国家 フランソワ＝グザヴィエ・メリアン著 石塚秀雄訳		白水社	B40.186 01.3
＊大阪人権博物館展示総合図録 改訂新版		大阪人権博物館	A4.120 99.11
＊安全衛生年鑑 平成12年版		中央労働災害防止協会	B5.567 00.12
＊労働研究所報 No.22		東京都立労働研究所	A4.113 01.3
＊海外日本研究機関一覧 2000年版		国際日本文化研究センター	B5.177 01.3

1. 労働論

NPO，労働強度，および潜在能力	中込正樹	青山経済論集	52-2 00.9
特集 労働の未来		季刊労働法	194 00.10
労働の未来（ギンター・シュミット 訳：布川日佐史）ワークシェアリングと労働法（米津孝司）			
日本の労働者の労働意識（佐藤 厚）労働の歴史と未来（ユルゲン・コッカ 訳：西谷 敏）			
特集 新しい働き方について		勤労者福祉	59 00.12
二十一世紀の労働を考える（野川 忍）仕事と育児が可能な働き方（永瀬伸子）			
組織人から仕事人へ（太田 肇）個人ニーズに合った多様な働き方の実現に向けて（岩田克彦）			
国内労働移動と国際労働移動	島田 章	経営と経済（長崎大）	80-2 00.9
アメリカ企業組織における日本人従業員の葛藤解決と手続的公正			
今在慶一郎，大淵憲一，林洋一郎		産業・組織心理学研究	13-1 00.11
コンティンジェント・ワーカーの働き方	二神枝保	産業・組織心理学研究	13-1 00.11
女性一般職の「ヨコの移動」によるキャリア形成	仙田幸子	産業・組織心理学研究	13-1 00.11

組織成員の仕事へのモチベーションが情報収集活動におよぼす影響

柳澤さおり, 古川久敬 産業・組織心理学研究 13-1 00.11

教師の労働負担(2) 千田忠男 評論・社会科学(同志社大) 63 00.11

教師の労働負担(3) 千田忠男 評論・社会科学(同志社大) 64 01.1

労働の蘇生と公共圏 小池直人 唯物論研究年誌 5 00.10

労働者のボランティア活動をとらえる視点 為貞貞人 労働運動研究 372 00.10

労働組合のある事業所での労働者の労働組合の必要度の認識 高原正之 労働統計調査月報 52-10 00.10

特集 IT革命下の労働者像 労働の科学 55-11 00.11

在宅ワーク型SOHOの現状と課題(平山喬恵) IT革命下の労働者像(島 悟)
「IT」を労働者の武器に(森 清) IT化が求める労働者像(岡登志雄)**2. 労使(資) 関係論**

造船危機下の労使関係(一) 矢野達雄 愛媛法学会雑誌 27-1 00.8

造船危機下の労使関係(二) 矢野達雄 愛媛法学会雑誌 27-2 00.10

雇用制度のなかの信頼 荒井一博 経済学研究(一橋大) 42 00.10

労働研究的方法的伝統(上) 石田光男 評論・社会科学(同志社大) 64 01.1

日本的労使コミュニケーション 中島敬方 連合総研レポートD I O 142 00.9

変貌する日本資本主義と労使関係の課題 宮本光晴 連合総研レポートD I O 145 00.12

＊高齢化時代への労使の対応 中部産業・労働政策研究会 B5.164 01.3

3. 労働経済論(含 賃金論)

フランス労働市場における賃金構造の変化と内部労働市場

雨宮康樹 オイコノミカ(名古屋市立大) 37-1 00.9

賃金格差に関する覚書 舟場拓司 関西大学社会学部紀要 32-1 00.9

独占的市場構造と規模別賃金格差 福田泰雄 経済学研究(一橋大) 42 00.10

賃金体系における関係的構造 平地一郎 佐賀大学経済論集 33-2 00.7

賃金率と労働分配率の循環的変動 高島浩之 商学論纂(中央大) 42-1/2 00.12

管理職の行動を考慮に入れた賃金決定モデルについて 上田和宏, 長谷川光 日本福祉大学経済論集 20 00.2

＊雇用創出論 白神松男 文芸社 B6.249 01.2

4. 経営労務論

ドイツ労使関係の変容要件(4) 大塚 忠 関西大学経済論集 50-3 00.12

5. 社会政策, 社会福祉, 社会保障論

特集 新世紀の社会福祉 月刊福祉 83-14 00.12

福祉の市場原理としてのNPO(杉岡直人) 地域密着型の自主的・自律的組織としてのNPO(山本 啓)

特集 21世紀の社会保障のトータルビジョン 月刊福祉 84-1 01.1

特集の視点(広井良典) セーフティネットの視点から見た社会保障のあり方(八代尚宏)

保険医療の全体像と将来ビジョン(西村周三) 公的年金制度(高山憲之) 女性と社会保障(木村陽子) 他

世界の医療・福祉と非営利・協同組織 角瀬保雄 経営志林(法政大) 37-2 00.7

不確実性と公的年金の最適規模 小塩隆士 経済研究(一橋大) 51-4 00.10

特集 西暦2000年, 協同組合を語る 社会運動 246 00.9

福祉の空間を考える(インタビュー)(外山義 聞き手: 佐野嗣彦)

たすけあいネットワーク事業のこれまでとこれから(池田 徹)

社会福祉における権利擁護制度の展開 山本 隆, 山本恵子 社会科学(同志社大) 65 00.9

要介護高齢者は低所得者層になぜ多いか 近藤克則 社会保険旬報 2073 00.9.11

福祉国家の後退と将来 大野吉輝 週刊社会保障 2103 00.9.18

変革期の人事労務管理と従業員意識(中) 東京都立労働研究所 労働経済旬報 1661 00.9.下旬

＊介護保険とシルバーサービス 川村匡由 ミネルヴァ書房 A5.235 00.11

＊社会保障改革の視座 新田秀樹 信山社 A5.293 00.12

＊福祉制度改革の基本体系 井村圭壮, 相澤譲治編著 勁草書房 A5.189 01.4

＊福祉社会	武川正吾	有斐閣	B6.309	01.5
7. 労働科学, 人間工学				
＊現代労働衛生ハンドブック 増補改訂第2版 本編	三浦豊彦他編	労働科学研究所出版部	B5.1823	98.6
＊現代労働衛生ハンドブック 増補改訂第2版 増補編	三浦豊彦他編	労働科学研究所出版部	B5.493	98.6
8. 職業教育・訓練論				
技能習熟過程における作業プランと意識	森 和夫	産業教育学研究	24-2	94.7
社会的技能についての訓練の位置と特徴	木村 誠	産業教育学研究	26-2	96.7
雇用構造の変化と産業教育の課題	山田雄一	産業教育学研究	27-2	97.7
アメリカ合衆国における職業教育連邦補助法と中等後段階の職業教育				
	横尾恒隆	産業教育学研究	28-2	98.7
看護婦の職業能力と養成カリキュラムの課題	村本淳子, 森 和夫	産業教育学研究	28-2	98.7
女子職業教育の変容過程	緑川ゆかり	産業教育学研究	28-2	98.7
キャリア形成に関する人的資源開発研究の動向と課題	平田謙次, 中西 晶	産業教育学研究	29-2	99.7
日本人の人権意識における職業訓練観	田中萬年	産業教育学研究	30-2	00.7
ポジティブ・アクションによる女性リーダーの育成について	青島祐子	産業教育学研究	30-2	00.7
公共成人職業訓練に関する一考察	戸田勝也	日本産業教育学会研究紀要	9	79.9
西ドイツ一般陶冶学校における技術・労働教育カリキュラムの比較研究				
	寺田盛紀	日本産業教育学会研究紀要	18	88.8
フランスの職業教育に於ける「協調教育」実施について	堀内達夫	日本産業教育学会研究紀要	19	89.8
職業技術教育訓練政策の統合と協調	村田昭治	日本産業教育学会研究紀要	22	92.9
現代フランスにおける見習訓練制度改革	夏目達也	日本産業教育学会研究紀要	23	93.8
ドイツにおける職業教育制度の現状と課題	沼口 博	日本産業教育学会研究紀要	23	93.8
非営利民間組織による職業訓練センターの成功の条件	大木栄一	日本産業教育学会研究紀要	23	93.8
＊海外事情 15		海外職業訓練協会	B5.133	01.3
＊海外・人づくりハンドブック	上西充子編著	海外職業訓練協会	A5.191	01.3
＊専門高校の国際比較	伊藤一雄, 佐々木英一, 堀内達夫編	法律文化社	A5.168	01.4
II 労働問題				
10. 総 記				
平成十二年版労働白書について(講苑)	久保雅裕	中央労働時報	974	00.11
＊野宿生活者(ホームレス)に関する総合的調査研究報告書				
	大阪市立大学都市環境問題研究会	A4.556	01.1	
＊雇用問題を考える	大竹文雄	大阪大学出版会	A5.86	01.3
11. 雇用・労働市場				
「雇用確保」が新制度の原点	宮川京子	あけぼの	18-1	00.10
変わる若者たちの職業意識		かけはし	14-11	00.11
労働市場の規制緩和と雇用問題	山田 久	関西経協	54-11	00.11
特集 雇用不安		季刊家計経済研究	48	00.秋
雇用不安をめぐって(大竹文雄)雇用不安とその対応策(古郡頼子)		失業と雇用不安(下田健人)		
労働者とセーフティ・ネット	小塩隆士	勤労よこはま	434	00.11
特集 激しい資本攻勢に抗して		月刊交流センター	127	00.10
総額人件費削減一賃金・退職金制度の改悪(岩崎嘉彦 磯村悦男 古川忠文)				
国家的総リストラによる労働者収奪と抵抗(宮島尚史)他				
特集 少子化と家族・労働政策 1		人口問題研究	56-1	00.3
『家族政策および労働政策が出生率および人口に及ぼす影響に関する研究』プロジェクト(阿藤 誠)				
出生, 結婚および労働市場の計量分析(加藤久和)他				
Recent labor market performance: comparing the U.S., Europe, and Japan	Scott M. Fuess, Jr	専修大学社会科学研究所月報	446	00.8
奈良県下の林業労働者の確保・定着問題	守屋貴司	奈良産業大学産業研究所報	3	00.9

高等学校生徒の職業希望	西田泰和	日本産業教育学会研究紀要	9	79.9
構造不況地域の室蘭における雇用・失業問題と教育訓練	永田萬亨	日本産業教育学会研究紀要	19	89.8
専修学校卒業者の就職に関する調査研究	斎藤健次郎 荒井正之	日本産業教育学会研究紀要	22	92.9
新聞報道にみる兵庫県内のリストラの嵐	福田誠一	兵庫県労働史研究会会報	8	00.10
大都市貧困対策をめぐる政治行政	武智秀之	法学新報（中央大）	107-1/2	00.8
1990年代半ばにおける自動車産業の雇用と処遇に関する補論	畑 隆	山口経済学雑誌	48-4	00.7
イギリス雇用審判所・雇用上訴審判所における三者構成と専門性（Ⅰ）	有田謙司	山口経済学雑誌	48-4	00.7
若年労働者の雇用意識・行動の変化と労使の取り組みに関する調査研究報告（報告）	末永 太	連合総研レポートD I O	144	00.11
雇用問題をどう解決するのか	立花 豊	労働経済旬報	1658	00.7.下旬
我が国の労働市場の現状～雇用のトレードオフを超えて	阿部正浩 奥西好夫 小滝一彦 神谷隆之 玄田有史 中窪裕也 平日 薫 座長：樋口美雄	労働経済旬報	1658	00.7.下旬
12. 労働条件				
JSUのISS制度	北山 等 大木 明 新古 勝 和田 茂	海員	52-12	00.12
特集 ワークシェアリング		産政研フォーラム	48	00.Autumn
ワークシェアリング論議で重要なこと（脇坂 明）ワークシェアリングの論点（久本憲夫）				
オランダのワークシェアリング（長坂寿久）フランスモデルの検討（松村文人）他				
新たなワークスタイルを求めて（Ⅰ）	下崎千代子	奈良産業大学産業研究所報	1	98.3
新たなワークスタイルを求めて（Ⅱ）	下崎千代子	奈良産業大学産業研究所報	3	00.9
13. 賃金問題				
フランス自動車産業における賃金の弾力化	荒井壽夫	滋賀大学経済学部研究年報	7	00.12
民間事務課長の給与は56万円台中心に分布	先見労務管理編集部	先見労務管理	1167	00.12
職種・職務給は日本企業にどこまで定着するか	伊藤 実	賃金事情	2375	00.11.20
特集 実力主義時代の賃金		労働と経営	38-12	00.12
成果反映の賃金制度のつくり方（河合克彦）賃金制度構築にあたっての留意（熊沢 誠）				
特集 新裁量労働制の詳細と運用上の課題		労働法律旬報	1488	00.9.下旬
労使委員会（青野 寛）労使委員会による労使協定に代わる決議（浜村 彰）				
新裁量労働制の要件（盛 誠吾）				
*賃金実態調査報告書 1 2000年6月度		ゼンセン同盟・総合繊維部会労働経済調査委員会	21×A4.146	01.
*賃金実態調査報告書 2 2000年6月度		ゼンセン同盟・総合繊維部会労働経済調査委員会	21×A4.115	01.
*実務賃金統計便覧 2001年版		日本人事労務研究所	B5.461	01.1
*賃金ハンドブック 2001年版		東海総合研究所	B5.134	01.2
*最低賃金決定要覧 平成13年度版	労働省労働基準局賃金時間部賃金課編	労働基準調査会	A4.253	01.3
14. 労働時間				
労働時間・残業・三六協定（上）	福田 徹	月刊権利闘争	288	00.11
*能力開発等の活動に取り組むための長期休暇制度の導入促進に向けた調査研究報告書		富士総合研究所	A4.251	00.3
*能力開発等の活動に取り組むための長期休暇制度の導入促進に向けた調査研究報告書		富士総合研究所	A4.156	00.12
*連続休暇・長期休暇に関する調査研究	勤労者リフレッシュ事業振興財団		B5.179	93.2
15. パート・派遣・家内労働				
パートタイマーと正社員の処遇や労働条件の均衡確保	佐藤博樹	関西経協	54-11	00.11
派遣スタッフの声が届かない改正派遣法	小嶋典明	月刊人材ビジネス	164	00.11
景気依存経営をいかに超えるか	武藤泰明	月刊人材ビジネス	166	00.12

パートタイム労働に係る雇用管理研究会報告	小林洋子	財形福祉	26-10	00.10
ジョブレス社会・日本の悲劇と課題	木下武男	賃金と社会保障 1283	00.10月上旬号	
労働者派遣法制の研究（四）	大山盛義	東京都立大学法学会雑誌	41-2	01.1
16. 女性労働				
在日を生きて（講演）	辛 淑玉	国公労調査時報	456	00.12
男女共同参画基本計画「21世紀の最重要課題」答申に見えるもの	伍 淑子	国公労調査時報	457	01.1
特集 女性労働の職域拡大における課題		労働調査	379	00.9
女性が働きがいを持ち、自己実現できる職場創造への取組み（高橋省吾）				
公営バス・地下鉄の職場で働く女性たちと今後の課題（山口百合子）女性の職場進出（齋藤純子）他				
＊東京の女性労働事情 平成12年度		東京都労働経済局	A4.72	01.3
＊新卒女性の募集・採用実態調査 '94	連合女性局編	日本労働組合総連合会	A4.74	94.6
17. 中高年労働				
日本における高齢者の雇用問題	峯田昌芳	福岡大学総合研究所報 人文・社会科学編	167	00.8
IT革命下の中高年（講演）	長谷川慶太郎	エルダー	22-11	00.11
生涯現役社会の条件（講演）	清家 篤	日労研資料	1242	00.10
高齢者の在宅就業への取組（座談会）				
（大原章男 池田 元 小嘉泉人 杉本正大 司会：矢野英二 田宮和夫）労働時報（労働省）				
＊不況下の職場を支えるベテランミドル		東京都立労働研究所	A4.173	01.3
＊活力あるセカンドライフへの期待	静岡県労働者福祉基金協会静岡ワークライフ研究所		A4.134	95.3
18. 障害者労働				
知的管理系技能の構造に関する研究	森 和夫	産業教育学研究	25-1	95.1
イギリスの障害者就労促進政策とその課題	山並美智子	社会関係研究（熊本学園大）	7-1	00.10
19. 外国人労働				
韓国における外国人労働者と労働法上の課題	崔弘曄 宋剛直	季刊労働法	194	00.10
熟練技能を発揮する外国人たちの職場から	国際人流編集局	国際人流	161	00.10
研修・技能実習制度	平林 毅	国際人流	160	00.9
アジア地域の移民労働、海外直接投資、および貿易自由化について				
	後藤純一	国民経済雑誌（神戸大）	182-3	00.9
外国人研修制度の現状と課題	染谷裕子	産業教育学研究	26-2	96.7
近年における日系人労働者の不安定雇用の増加と特質	大久保武	農村研究（東京農業大）	91	00.9
超過滞在・単純労働外国人の人権	斉藤功高	文教大学国際学部紀要	11-1	00.7
＊諸外国における外国人労働者の現状と施策	労働省職業安定局外国人雇用対策課編			
	日刊労働通信社		A5.315	99.12
21. 労災、職業病、健康問題				
アスベスト被害のない未来へ 世界的禁止の実現に向けて	古谷杉郎	安全センター情報	271	00.12
最近の労働衛生行政の取り組み	鶴田憲一	関西経協	54-12	00.12
職場の健康管理	山田忠史	関西経協	54-12	00.12
職場のメンタルヘルス	水野 洋	関西経協	54-12	00.12
特集 いのちと健康を守る活動		月刊全労連	46	00.11
「安全なくして労働なし」を合言葉に（宮崎 徹）実際起きている事態や問題は一刻の猶予もならない（鈴木藏人）				
個別問題を具体的にとりあげ全体のたたかいに命を（三栄国康）在職死亡をなくすため予防運動の強化を（山口大介）				
過重労働下のいのちと健康問題	福地保馬	月刊全労連	46	00.11
アメリカにおける放射線被曝労働者の救済（1）	品田充儀	神戸外大論叢	50-1	99.9
特集 どうする？ ゆらぐ安全管理		産業訓練	542	00.11
組織の安全と人間（吉田道雄）労働安全管理施策としての安全教育の重要性（赤塚 肇）				
特集 公務災害「二事案」と地裁判決		自治労通信	677	00.11
「内之浦町職員」急性心筋梗塞公務災害事件（高橋政雄）				

「伊勢市立病院准看護婦」脳動脈瘤破裂公務災害事件（小川 正）				
特集 建設・建築労働者の安全衛生活動	労働と医学	67	00.9	
建設産業での労働災害と安全対策の問題点（木川田二郎）今日のじん肺問題と予防対策（藤井正實）				
建設労働者の石綿暴露と健康障害（川見正機）全建総連の労働安全衛生活動（老田靖雄）他				
仕事のストレスと免疫力	中田光紀 労働の科学	55-11	00.11	
労働態様の変化と健康障害の100年	山田信也 労働の科学	55-11	00.11	
22. 労働者意識				
＊大都市若年アルバイトの就労と意識	東京都立労働研究所	A4.149	01.3	
23. 生活問題				
共働き世帯における夫の家事・育児分担についての分析 前田正子	季刊家計経済研究	48	00.秋	
2000年版 白書にみる福利厚生 雇用流動化時代の勤労者生活	旬刊福利厚生	1711	00.10.18	
＊勤労青少年ホームに関する調査結果報告書	労働省労政局勤労者福祉部	A4.173	00.9	
＊家族形成のダイナミクス 加藤彰彦編	日本家族社会学会全国家族調査研究会	A4.144	01.3	
＊現代日本の親子関係 渡辺秀樹編	日本家族社会学会全国家族調査研究会	A4.148	01.3	
III 労働運動				
30. 総 記				
音楽家が大切にされる社会をめざす	音楽人通信	349	00.12	
労働者階級の20世紀・21世紀（座談会）（小林 勇 小森良夫 柴田嘉彦 竹内真一）	経済	64	01.1	
21世紀初頭の労働運動の課題（鼎談）				
（山路憲夫 大木一訓 坂内三夫 司会：寺間誠治）	月刊全労連	48	01.1	
人権侵害とのねばりづよいたたかいかちとった勝利 坂本福子	ひろば	1093	00.10.1	
男女同一水準での賃金・職位の是正を実現 堀口暁子	ひろば	1093	00.10.1	
日立争議勝利 荒川照明	労働運動	433	00.11	
＊高齢化に挑戦する労働組合 高田一夫，現代総合研究集団編著	第一書林	A5.198	01.4	
31. 労働組合・運動論				
ドイツの労働組合 鈴木芳明	大分大学経済論集	52-4	00.11	
公共部門における労働組合の競合 フランソワ・シマー	大原社会問題研究所雑誌	504	00.11	
労働組合と政党政治の関係についての研究動向 丹羽 功	富大経済論集	46-2	00.11	
21世紀に向けての魅力ある労働組合の再構築を考えるシリーズ 中村正次 労働レーダー		24-10	00.10	
32. ナショナルセンター				
＊わたしたちの連合We	日本労働組合総連合会	A4.44	94.1	
34. 単産，単組				
“勝負の一年”全組織一体となった運動と諸課題の前進に全力注ぐ 白石健一 あけぼの		17-10	00.8/9	
女性組合員は今 増田貴子，黒田貴子	海員	52-11	00.11	
特集 国鉄闘争—課題と展望	科学的社会主義	31	00.11	
国鉄闘争の現状と展望について（篠崎信一）JRへの法的責任追及は人間の尊厳を求めた闘い（鈴木 孝）				
ILOと国鉄闘争（川副詔三）「国鉄闘争」—過去・現在・未来（滝野 忠）				
憂慮される国鉄闘争の前進 川副詔三	季刊ひとびと	11	00.秋	
愛媛・正光会闘争の現場で 中川良一	月刊権利闘争	288	00.11	
正念場を迎えた正光会労組の闘い 松尾幸弘	月刊権利闘争	288	00.11	
「四党合意」の破棄，現執行部の総退陣を！ 吉野元久	月刊交流センター	127	00.10	
特集 国鉄闘争をめぐる情勢と課題	月刊交流センター	129	00.12	
国労定期全国大会の結果と国労再生の道（吉野元久）「四党合意」地労委闘争の意義（宮武章治）				
はじめての全労連訪中代表団に参加して 藤田忠弘	国公労調査時報	456	00.12	
「IT革命」の「光」と「影」を見極め，自らの組織の有り様や運営を根っこから変えるという気概が不可欠				
津田淳二郎 情報労連リポート		236	00.9	
二一世紀，JR労働運動の展望（二） 伏見恵司	進歩と改革	588	00.12	
ILO勧告と国鉄闘争の展望 川副詔三	地域と労働運動	4	00.10	

特集 21世紀にゆたかに発展させよう民医連看護	民医連医療	340	00.12
明るいまちづくり広がるふれあい入浴の輪（講演）（山本一代）			
たたかうケアマネージャーめざして（講演）（向井あきら）	クリティカルパスについて（講演）（升田和比古）		
今日の職場と働く人びとの健康改善のための民医連の役割（講演）（服部 真）			
生存権保障としての保健・医療・福祉のネットワーク（講演）（手島敏樹）			
グループホームでの取り組み（講演）（江本 淳）			
規制緩和のなかで、労働条件改善と安全輸送確立のために闘うタクシー労働者	菊池和彦	労働総研ニュース	128 00.11
交通事故防止のためにたたかうトラック運輸労働者	山田喜巳	労働総研ニュース	128 00.11
＊総合労働政策 第2次	ゼンセン同盟	B5.130	90.9
＊東アジア郵便労組フォーラム	全通信労働組合	A4.64	95.1
36. 賃金闘争（含 生活改善闘争）			
2000年春季生活闘争を取り巻く諸情勢	労働政策局	月刊J A M	16 00.12
二〇〇〇春闘結果	徳光清孝	月刊権利闘争	287 00.9/10
2000年春闘の到達点と今後の課題			
元野範久，下村三郎，野形 葵，大木 寿，前川昌人，小田川義和，若井雅明，小室正範，西崎昭吉，菊谷節夫，見崎徳弘，井ノ尾寛利，今谷賢二，森口英昭	月刊全労連	43	00.8
特集 2001春闘スタート	月刊労働組合	418	00.12
連合春闘のめざす道（龍井葉二）	行き詰まる経済，だからこそ春闘を（清水由紀郎）		
業界再編で進む下請淘汰，賃金破壊（盛田 悠）	労働白書の特徴と労働運動の課題（松永裕方）		
成果主義的要素を加味した「職群別職種・職能賃金制度」を提唱	萩原文隆	賃金事情	2372 00.10.5
ぜんぶ春闘改革論 草野忠義，鈴木勝利，高木 剛，服部光朗，津田淳二郎，河内山大作，荻野武士，坪根 眞，南雲光男，大原義行	連合	13-7	00.10
「2001年春闘の変化と課題」	矢加部勝美	労使の焦点	223 00.11
＊連合栃木白書	連合栃木総合生活研究所	A4.154	95.12
38. 合理化・雇用対策			
揺らぐ争議解決後の社会保険の取扱（3）	石原 均	季刊ひとびと	11 00.秋
＊7.1 講演と討論のつどい	西三河労働者の集い実行委員会	A5.34	00.7
＊日産リバイバルプランとのたたかい宣伝ビラ綴り	J M I U日産自動車支部	27x39cm.1冊	00.
＊日産リバイバルプランとのたたかい宣伝ビラ綴り その2	J M I U日産自動車支部	27x39cm.1冊	01.
39. 権利闘争			
労働者の権利白書 2000年版	日本労働弁護団	季刊労働者の権利	236 00.10月臨時増刊
国労採用差別事件「四党合意」をめぐる	福田 徹	月刊権利闘争	288 00.11
特集 求められるカオスの打開		労働情報	564 00.12.1
国労闘争団にふさわしい解決の道へ（小野寺忠昭）			
解決時に法的責任を問わないが法的責任なしになったわけ（インタビュー）（高橋義則）			
40. 政策制度闘争			
＊シンポジウム「こうあるべき，21世紀の年金制度」記録	日本労働組合総連合会生活福祉局	A4.94	97.6
41. 教育文化宣伝活動			
機関紙の果たしてきた役割と今後の可能性	田村 靖 佐藤晴之	Journalist	400 00.9
42. 労働者福祉運動			
戦後日本における生活協同組合の展開と構造	佐藤 信	市立名寄短期大学紀要	別冊2 00.6
「協同組合の振興」Promotion of cooperatives（抄訳）	翻訳：菅野正純	協同の発見	102 00.11
高齢者向け福祉サービスに従事する労働者協同組合の実態	岡 真人	経済と貿易（横浜市立大）	181 00.10
43. 労働組合と政治			
勤労者・生活者に視点をのいた政治の実現へ	永井 浩	あけぼの	18-1 00.10

市民派市政の勝利に燃えた東京土建狛江支部の奮闘を追う

建設労働のひろば編集部 建設労働のひろば 36 00.10

今回の衆議院議員選挙結果をふまえて

山口二郎 連合総研レポートD I O 142 00.9

＊自治労の政治方針に関する資料集

全日本自治団体労働組合 B5.110 92.

＊連合の政治方針

日本労働組合総連合会 A4.14 93.10

IV 経営労務**50. 総記**

新世紀ホワイトカラーの雇用実態と労使関係ー現状と展望

労働経済旬報 1657 00.7.上旬

＊仕事能力と会社生活

雇用開発センター A5.176 00.12

51. 人事・労務管理

製造業における現業労働者の昇進に関する国際比較

藤原直樹 大分大学経済論集 52-4 00.11

新時代の管理者の役割と育成を考える

石月言成 企業と人材 759 00.12.5

これからの人事制度のあり方

岩崎秀一 勤労よこはま 435 00.12

人事制度の変遷と労働法

松田保彦 勤労よこはま 435 00.12

企業イノベーションの方向性と具体策

一條和生 経営者 646 00.11

アメリカの賃金制度と評価制度 (13)

笹島芳雄 月刊人事労務 141 00.11

コンピテンシーと日本型人事・賃金システム (1)

楠田 丘 月刊人事労務 141 00.11

人事評価と労働組合ー注目されるJ M I Uの取り組み

芹沢寿良 月刊全労連 43 00.8

国際化時代を乗り切る目標管理型人事制度 (完)

森 英一 旬刊労働実務 1319 00.12.11/21

目標の設定の仕方

菊谷寛之 旬刊労働実務 1319 00.12.11/21

人材を輩出させる企業が「良い企業」

吉田 寿 人材教育 142 00.10

特集 躍進するアジア企業の人材戦略

人材教育 143 00.11

アジアにおける日本の人事の破綻 (大滝令嗣) アジアにおける欧米グローバル企業の人的資源管理 (白木三秀)

人事システムのグローバル・スタンダード化と産業構造改革で“漢江の奇跡”を再現 (梶文彦) 他

多面評価 (360度評価) をどう活用するか

太田隆次 賃金実務 866 00.10.1

オーダーメイド型コンピテンシーの展開と活用

太田隆次 賃金実務 867 00.10.15

人事異動研究と組織学習論の接点

安藤史江 南山経営研究 15-1/2 00.10

博報堂における裁量労働制

東 俊 日労研資料 1241 00.9

会計制度の変化と労働問題

大日方隆, 今福愛志, 吉田和生, 中田喜文, 竹廣良司, 徳田鞆彦, 遠藤寿行, 田中恒行

日本労働研究雑誌 483 00.10

裁量労働制は仕事にゆとりをもたらすか? (報告)

末吉武嘉 連合総研レポートD I O 144 00.11

業績主義時代の人事管理と多様化する人材育成戦略

労働経済旬報 1657 00.7.上旬

ホワイトカラー職場におけるストレスコントロールの必要性について

労働経済旬報 1657 00.7.上旬

これからの人事・処遇制度のポイント (13)

河合昭彦 労務事情 972 00.10.1

中小企業のための人事・賃金トータルプラン (10)

谷田部光一 労務事情 972 00.10.1

＊ソシオリズムの話 給与・休日編

白柳夏男 白柳夏男 A5.268 00.5

＊新時代の人材開発戦略

竹村之宏 社会経済生産性本部 A5.199 01.3

＊中堅企業における人事評価と中途採用

東京都立労働研究所 A4.120 01.3

52. 賃金管理

人事戦略として注目されるストックオプション

溝上憲文 賃金事情 2376 00.12.5

成果主義にもとづく人的資源管理の展望

関口和雄 日本福祉大学経済論集 20 00.2

53. 小集団活動, 提案制度

職場の人材開発

小池和男 社会科学研究 (東京大) 52-1 00.10

54. 定年制, 退職金, 企業年金

定年制度とは何か

佐口和郎 季刊経済学論集 (東京大) 66-3 00.10

連合会が「企業年金の受給権保護を図る制度の創設について（案）」にかかる要望書を厚生省に提出

	企業年金	255	00.11
資産運用にかかる情報開示の進展について	企業年金	253	00.9
年金資産運用における為替ヘッジ政策のあり方に関する基礎的調査研究について	I 企業年金	253	00.9
企業年金改革政策の残した課題	藤田至孝 週刊社会保障	2106	00.10.9
韓国における退職金制度	金 栄洪 日本労働研究雑誌	483	00.10
*図解確定拠出年金 プライスイウォーターハウスコーパスユニファイネットワーク			
	東洋経済新報社	A5.207	00.10
*企業年金・退職金ハンドブック 2000年版 産労総合研究所編	経営書院	B5.415	00.4

55. 福利厚生

「変革期の企業福利厚生」に寄せて（7）	岡田義晴	旬刊福利厚生	1711	00.10.18
企業福祉の現状とこれからの課題	谷田部光一	労務事情	972	00.10.1

56. 教育・訓練

これからのビジネスマンにとって語学ができるということ	関口一郎	企業と人材	757	00.11.5
これからの新人教育を考える	小山 俊	企業と人材	754	00.9.20
企業における「社会的責任論」と「社会貢献活動」	坂口 茂	産業教育学研究	24-2	94.7
キャリア開発の概念とその展開	中石誠子	産業教育学研究	26-2	96.7
鉄鋼業における技術者養成機関の再編	永田萬享	産業教育学研究	27-2	97.7
勃興期の企業内教育	江幡良平	産業教育学研究	30-2	00.7
男女共生の職場づくりをめざして（座談会）				
特集 これからの研修スタッフとは		産業訓練	540	00.9
研修インストラクターから見た研修スタッフの役割（櫻井 豊）				
変わる人材育成のあり方と担当者の役割（小野紘昭）				
プロフェッショナル制度発足の事情紹介	金野登美子	産業訓練	540	00.9
男女共生の職場づくりをめざして				
（及川ふさ子 水上敦美 吉井俊一 司会：青木健）		産業訓練	542	00.11
特集 男女共生の職場づくりをめざして		産業訓練	542	00.11
女性社員の能力向上と活用をめざして（岩松かほる）男女共生の職場づくりへ（東海林雅子）				
「今後の職業能力開発の在り方研究会」の報告について				
労働省職業能力開発局能力開発課		職業能力開発ジャーナル	42-8	00.8
造船業の「合理化」と企業内教育訓練	永田萬享	日本産業教育学会研究紀要	16	86.8
職務像、能力像の認知を巡る諸問題	生田日常光	日本産業教育学会研究紀要	18	88.8
ME化時代の在職者技術教育の一課題について	小原哲郎	日本産業教育学会研究紀要	20	90.8
学校教育と企業内教育の相互関係についての一分析	銭 小英	日本産業教育学会研究紀要	20	90.8
海外進出企業の現地化問題と人材育成策について	澤本正巳	日本産業教育学会研究紀要	22	92.9
新しい生産システム下における中核的技能者の育成に関する調査研究（報告）				
	篠田芳範	連合総研レポートD I O	144	00.11
産業社会の変化に対応した人材育成	木村文勝	労働かながわ	584	00.11

59. 国際経営労務

*中国進出日系企業の出稼ぎ労働者	大島一二編著	芦書房	A5.235	01.1
------------------	--------	-----	--------	------

V 労働政策

60. 総記

EU社会政策思想の転換	濱口桂一郎	季刊労働法	194	00.10
特集 地方労働行政の再編		労働と経営	38-10	00.10
都道府県労働局はこんな仕事をする（村山 誠）地域に應える地方労働行政（労働と経営編集部）				
地方労働行政再編に期待する（神代和欣）				

61. 雇用政策

*規制緩和と雇用政策	高梨 昌述	情報サービスプラザ	A4.30	95.11
------------	-------	-----------	-------	-------

62. 賃金政策

賃金委員会法 (Trade Boards Act, 1909) の成立	高島道枝	経済学論纂 (中央大)	41-3/4	00.12
特集 人事院勧告と公務員賃金闘争		月刊労働組合	416	00.10
再構築迫られる公務員賃金闘争 (座談会) (飯田敬次 増淵静雄 松澤悦子 司会: 松本重延)				
臨時・非常勤職員の賃金闘争 (相原久美子) 賃金の抑制と意識改革がねらい (下) (松本重延) 他				
2000年人事院勧告	全農林	全農林調査時報	67	00.8

65. 社会保障, 社会福祉

特集 介護保険実施半年の到達点と課題		生活経済政策	463	00.12
介護保険で見てきたもの—流山市からの報告 (石原重雄) 介護保険半年の到達点 (福井英夫 福井 久)				
パターンリズムからの脱却は可能か (池田省三) 介護保険の施行状況と今後の施策展開 (高井康行)				
特集 政策提言・高齢者介護		改革者	484	00.11
転機に立つ高齢者福祉とその課題 (梅澤昇平) 介護の不安を解消し日本経済を復活 (インタビュー) (舩添要一)				
スタートした介護保険と自治の現実 (桑原英明) 超過疎地の高齢化社会 (喜田浩一)				
専門ケアマネジャーをはぐくむ介護報酬を	岡本悦司	介護保険情報	1-8	00.11
特集 介護保険制度をめぐる諸問題		季刊社会保障研究	36-2	00.Autumn
介護保険制度をめぐる諸問題 (尾形裕也) 要介護認定とケアマネジメント (小林良二)				
公的介護保険と社会福祉事業改革の課題 (八代尚宏) 家族ケア・女性の就業と公的介護保険 (永瀬伸子) 他				
特集 年金をめぐる独身者問題		季刊年金と雇用	19-3	00.11
年金をめぐる独身者問題 (棕野美智子) 公的年金制度における拠出と給付の単位 (真屋尚生)				
独身者と公的年金 (牛丸 聡) 未婚化現象の本格化と年金制度 (小川直宏)				
米国におけるCash Balance Planの現状と問題点に関する調査研究 (I)	武井伸次	季刊年金と雇用	19-3	00.11
特集 社会福祉法に変わって何が変わる?		季刊福祉労働	87	00.Summer
社会福祉の歴史における基礎構造改革の意味 (杉本 章)				
障害当事者からみた「新しい利用制度」の問題点 (尾上浩二) 社会福祉基礎構造改革と福祉施設 (檜山真理)				
当事者活動とNPOから社会福祉事業法改正 (案) を読む (北野誠一) 他				
日本の年金政策	高山憲之	経済研究 (一橋大)	51-4	00.10
特集 介護保険発足現場レポート		月刊権利闘争	286	00.8
自治体議員の見た介護保険実施三ヶ月の問題点 (工藤すず子 渋谷晃次 石橋咲子)				
自治体議員の見た介護保険実施三ヶ月の問題点 (小林るみ子)				
特集 介護保険・自治体現場報告		月刊自治研	493	00.10
福祉先進自治体町田は今 (インタビュー) (寺田和雄 聞き手: 池田省三)				
顔の見える福祉をめざして (報告) (小野 司) 在宅介護支援センターの現場から (報告) (根本 明) 他				
公的年金制度改正の検討 (II)	渡部記安	月刊労働組合	416	00.10
特集 介護保険制度スタート7ヵ月を検証する		国公労調査時報	456	00.12
介護・福祉職場で何が起きているか (渡部幸雄) スタートから半年, 矛盾深まる介護保険 (相野谷安孝)				
負担増え給付減る公的年金制度		コミュニケーション	27-11	00.12
特集 介護保険施行後のわれわれの課題		社会主義	453	00.11
「総合介護条例案」を議員提案 (鹿倉泰祐) ケアハウス建設に関わって (二階堂剛)				
「共生ハウスみんなの里」二年の経験から (大隅保光) 「ケアセンター成瀬」の現状と今後の課題 (小竹金次)				
公的年金の財源調達をめぐる諸問題	仲田信雄	社会主義	453	00.11
個人に必要なケア量をいかに測るか (上) 介護保険業務研究会		社会保険旬報	2073	00.9.11
個人に必要なケア量をいかに測るか (下) 介護保険業務研究会		社会保険旬報	2074	00.9.21
マネジドケアに揺れ動くアメリカの医療				
下村 健 トーマス・ボーデンハイマー 矢崎義雄 司会: 田中 滋		社会保険旬報	2074	00.9.21
日本と米国における高齢者医療制度の将来展望				
(ケヴィン・グラムパッハ 高木安雄 徳田禎久 西山正徳 司会: 渡辺俊介) 社会保険旬報			2075	00.10.1

米国のマネジドケア（上）	伊原和人, 小野太一	社会保険旬報	2075	00.10.1
米国のマネジドケア（中）	伊原和人, 小野太一	社会保険旬報	2076	00.10.11
米国のマネジドケア（下）	伊原和人, 小野太一	社会保険旬報	2077	00.10.21
年金制度はいかに改革されるべきか（上）	宇野 裕	社会保険旬報	2077	00.10.21
介護保険施行半年間の現実と改革課題	二木 立	社会保険旬報	2078	00.11.1
介護保険はどう見直されるべきか（てい談）（伊藤周平	相野谷安孝	鍋谷州春）社会保障	372	00.秋
生活保護の役割と課題	田畑洋一	週刊社会保障	2104	00.9.25
福祉改革の残した軌跡考	高藤 昭	週刊社会保障	2105	00.10.2
年金制度の基本的課題（上）	西村 淳	週刊社会保障	2106	00.10.9
年金制度の基本的課題（下）	西村 淳	週刊社会保障	2107	00.10.16
公的年金の常識・非常識（十二）	中山秀豊	週刊社会保障	2107	00.10.16
年金改革論と二〇〇〇年改正	清水英彦	週刊社会保障	2108	00.10.23
年金税制と金融機関の年金運用	代田 純	証券経済研究	28	00.11
21世紀の社会保障の在り方についての意見	高木 剛	ゼンセンコンパス	51-1	01. 1
社会保障の危機と労働組合の対応	逢見直人	ゼンセンコンパス	51-1	01. 1
高齢者総合福祉施設旭ヶ丘の苦情処理システムについて	祐川暢生	賃金と社会保障	1283	00.10月上旬号
中国の高齢期社会保障の特異性について（上）	王 文亮	賃金と社会保障	1283	00.10月上旬号
中国の高齢期社会保障の特異性について（下）	王 文亮	賃金と社会保障	1284	00.10月下旬号
福祉の市場化と社会福祉における公的責任再考	芝田英昭	賃金と社会保障	1284	00.10月下旬号
特集 日本の社会福祉はどう変わる		賃金と社会保障	1277/1278	00.7月合併号
検証・成立した社会福祉法（浅井春夫）新自由主義的福祉改革と福祉労働（二宮厚美）				
二十一世紀の障害者施策を展望する（座談会）				
（太田修平 大友 勝 金子 健 松尾 榮 司会：板山賢二）		ノーマライゼーション	20-10	00.10
新しい社会福祉援助実践の展開	松本眞一, 大谷 悟	桃山学院大学総合研究所紀要	26-1	00. 9
介護保険と高齢者福祉のゆくえ	橋本宏子	歴史評論	608	00.12
＊新・介護保険総点検	川村匡由	ミネルヴァ書房	A5.298	00. 7
＊厚生労働省の挑戦	水巻中正	日本医療企画	B6.222	01. 2

66. 労働法

ドイツにおける労働者の損害賠償責任制限法理に関する一考察（一）

	細谷越史	大阪市立大学法学雑誌	47-2	00.11
解雇法制をめぐる最近の動き	小寫典明	関西経協	54-11	00.11
解雇権濫用法理と要件事実・証明責任、及び解雇に関する正当事由必要説の再構成試論				
	古川景一	季刊労働法	194	00.10
降格をめぐる法律問題	藤内和公	季刊労働法	194	00.10
労組にとっての実務問題としての民事再生法Ⅱ	古川景一	ゼンセンコンパス	51-1	01. 1
改正労働者派遣法（シンポジウム）	鎌田耕一, 脇田滋, 安西愈	日本労働法学会誌	96	00.10
雇用調整と雇用保障（シンポジウム）	清 正寛, 李鋌, 山下 昇	日本労働法学会誌	96	00.10
労使関係法制（シンポジウム）	島田陽一, 小寫典明, 藤川久昭	日本労働法学会誌	96	00.10
労働法の新たなパラダイムのための一試論（一）	三井正信	広島法学	24-2	00.11
特集 2000年学界回顧		法律時報	72-13	00.12
労働法（盛 誠吾）社会保障法（倉田 聡 中川 純）				
労働法学からみた木元教授の経済法論	松岡三郎	法律論叢（明治大）	73-2/3	00.11
経済社会の変化に伴う労働関係法制の諸問題（2）	野川 忍	労使の焦点	223	00.11
＊規制緩和と労働者・労働法制	万井隆令他編	旬報社	A5.331	01. 2

67. 労働判例

意図的かつ長期の団交拒否に対する不法行為の成立と損害賠償	渡辺卓也	季刊労働法	194	00.10
更衣時間等は労働時間として賃金カットを無効とした例	秋山昭八	月刊経営労務	544	00. 9
60歳定年制実施に伴う賃金減額措置が不利益変更にあたらないとされた例				
	鈴木利治	月刊経営労務	546	00.11

過労自殺をめぐる判例等の動向と今後の課題	玉木一成	月刊全労連	46	00.11
「採用区分」の違いは男女差別ではない？	大野町子	月刊ヒューマンライツ	152	00.11
最新労災判例の詳解	山口浩一郎	月刊ろうさい	51-11	00.11
自動車運転手のくも膜下出血は業務上災害	勝亦啓文	先見労務管理	1162	00.10
特集 みちのく銀行事件最高裁判決		賃金事情	2375	00.11.20
経営コストの削減を目的に、55歳以上の行員の賃金・賞与を大幅に削減したことが違法とされた例（盛誠吾）				
特定層だけの賃金引き下げは法的に困難（中山慈夫）他				
特集 介護事故		賃金と社会保障	1280	00.8月下旬号
介護事故と損害賠償責任（菊池馨実）老人保健施設の介護事故を追って（大高智子）				
食事介助と特養ホームでの死亡事故	菊池馨実	賃金と社会保障	1284	00.10月下旬号
一部組合員の給与減額と労働協約の効力	西谷 敏	法律時報	72-13	00.12
過重労働による自殺と企業の損害賠償責任	小畑史子	労働基準	52-9	00.9
作業服の着脱、移動、洗身等の時間と労基法上の労働時間	土田道夫	労働判例	786	00.10.1
労働条件の不利益変更の限界	山本吉人	労働判例	788	00.11.1
過労自殺についての使用者の損害賠償責任と過失相殺の可否	西村健一郎	労働判例	783	00.8.1/15
労働条件の不利益変更に関する三つの最高裁判決について	労働法令研究会	労働法令通信	53-33	00.12.8
二〇〇〇年における労働判例	慶谷淑夫	労働法令通信	53-34	00.12.18
68. 労働委員会				
労働委員会活用による処理システムの確立へ	中川宏一	月刊労働組合	418	00.12
合同労組申立事案と個別労使紛争事案の傾向	本郷隆夫	中央労働時報	974	00.11
＊熊本県地方労働委員会年報 平成12年版		熊本県地方労働委員会事務局	A5.94	01.3
＊年報 平成12年版		長崎県地方労働委員会事務局	A4.55	01.3

VI 世界労働

71. アジア				
韓国で闘争が続く	スティグ・ジュダーストローム	METAL WORLD	2	00.6
アジアの労働運動の現状と展望	初岡昌一郎	海員	52-8	00.8
ストライキ・一〇〇七名解雇そして白紙撤回	東 健治	季刊ひとびと	11	00.秋
再生するアジアの労働経済事情 谷浦孝雄、朱炎、谷垣真理子、中嶋航一、三浦有史、高橋克秀、丸山恭平				
青木 健、水野広祐、浜田道雄		経営者	645	00.10
ロシア極東への中国人労働力の流入は脅威か	大津定美	国際協力論集（神戸大）	8-2	00.11
マレーシアにおける労働者の就業意識	劉 愛群	商学研究（東京国際大）	11	00.9
中国における国有企業改革とコーポレート・ガバナンス	芳澤輝泰	龍谷大学経営学論集	40-1	00.7
73. ヨーロッパ				
フランス「週35時間」と「労使関係の再構築」	松村文人	生活経済政策	461	00.10
イギリス—いくつもの「第3の道」	小笠原浩一	生活経済政策	463	00.12
ブリュッセルから見た欧州の労働運動	丸山隆一	海員	52-8	00.8
デンマークの社会労働事情	前島 巖	世界の労働	50-10	00.10
イギリスのパートタイム労働に関する新法制とEC（現EU）理事会指令				
	柴山恵美子	賃金と社会保障	1280	00.8月下旬号
＊ヨーロッパの労働組織事情	全日本金属産業労働組合協議会	IMF東アジア地域事務所	B5.40	90.
75. 北アメリカ				
米国労働組合運動事情	中村忠彦	海員	52-8	00.8
米国の労働運動 リチャード・ベンシンガー、ノエル・ビーズリー		ゼンセンコンパス	50-11	00.11
79. ILO, 国際機関				
ILO創設と男女平等賃金原則の成立（1）	戸塚悦朗	国際協力論集（神戸大）	8-2	00.11
二〇〇〇年の母性保護条約・勧告の意義と日本の課題	木村愛子	世界の労働	50-10	00.10

ILO世界労働報告二〇〇〇年版「変わりつつある世界のなかでの所得保障と社会保護」(1)

山端 浩	世界の労働	50-10	00.10
特集 国際金融機関、貿易と労働組合	連合国際レポート	6	00.12
トリノ雇用サミット：失業問題への包括的アプローチ(吉田昌哉)			
NGOとの関係を模索するOECD：第105回T U A C総会(吉田昌哉) 他			

VII. 歴 史

80. 総 記

浅野研眞の社会学思想	兒玉幹夫	社会学論叢(日本大)	139	00.11
＊学びあう女と男の日本史	歴史教育者協議会編	青木書店	A5.236	01.3 3

81. 労働史(日本)

三菱商事成立期の人材形成	大島久幸	社会科学年報(専修大)	35	01.3
技能者養成に関する日本工業協会の役割	田中萬年	日本産業教育学会研究紀要	12	82.8
「熟練工論争」再考	佐々木輝雄	日本産業教育学会研究紀要	12	82.8
明治30・40年代の手工教育の構造	上里正男	日本産業教育学会研究紀要	19	89.8
技能伝達の方法に関する実証的研究	寺田盛紀	日本産業教育学会研究紀要	20	90.8
近代日本の重工業における福利政策の展開	池田憲隆	立教経済学研究	54-2	00.10
＊中国人強制連行・花岡事件関係文献目録	野添憲治	能代文化出版社	B6.84	00.11

82. 労働史(外国・国際)

ドイツ労使関係の変容要件(2)	大塚 忠	関西大学経済論集	49-3	99.12
ドイツ労使関係の変容要件(3)	大塚 忠	関西大学経済論集	50-2	00.9
20世紀初頭におけるドイツ労働者の生活水準と社会環境(下)				
	新見尚子	季刊北海学園大学経済論集	48-2	00.9
中国における失業問題の経過と対応	沈 奇志, 岩田龍子	現代と文化(日本福祉大)	102	00.3
15年戦争期における撫順炭鉱の労働史(上)	松村高夫	三田学会雑誌(慶応義塾大)	93-2	00.7

83. 労働・社会政策史(日本)

友愛会の歴史的意義と社会事業(4)	布川 弘	月刊部落問題	287	00.11
友愛会の歴史的意義と社会事業(5)	布川 弘	月刊部落問題	288	00.12

84. 労働・社会政策史(外国・国際)

大恐慌期の特別協議委員会	伊藤健市	関西大学商学論集	45-3	00.8
アグロタウンにおける民衆労働者のアソシアション	岡住正秀	スペイン史研究	14	00.10
ヴァイマル期における失業保険制度成立の道程	小西康之	法律論叢(明治大)	73-2/3	00.11

85. 労働運動史(日本)

労働運動に燃えた半生(10)	柴崎秀明	季刊ひとびと	11	00.秋
戦後労働運動と経済学(下)	戸木田嘉久	経済	63	00.12
足尾銅山「暴動」の構造的特質について	土井徹平	日本歴史	631	00.12
＊七十七銀行従業員組合組合史	七十七銀行従業員組合組合史編纂委員会		21xA4.480	01.4
＊闘い続けた55年の記録		全岩田屋労働組合	A5.382	01.4
＊日本労働運動史	猿橋 真	学習の友社	A5.303	01.4

87. 社会主義運動史(日本)

「山本宣治と河上肇」	草川八重子	山宣	6	00.10
特集 日本共産党の転換を検証する		労働運動研究	373	00.11
日本共産党の転換で未来の展望は拓けるか(柴山健太郎) 左翼運動を再考し、再興する機会?(植村 邦)				
フランス共産党の前例(福田玲三)「開かれた党」への道は開かれるのか(乾 一)				
自衛隊有事活用論にみる墮落(喜多蒼生)				

88. 社会主義運動史(外国・国際)

国民政府時期、転換期の中国政治と都市部における共産党の再生				
	田中 仁	アジア太平洋論叢(大阪外国語大)	10	00.3
中国共産党の政治統合における「秘密結社」(1949～1955) 孫 江 愛知大学国際問題研究所紀要				
			113	00.9

レーニンと『資本論』(39)	不破哲三	経済	63	00.12
レーニンと『資本論』(40)	不破哲三	経済	64	01.1
マリアテギ・ニーチェ・コミンテルン(上)	崎山正毅	思想	919	00.12
金正日総書記による「苦難の行軍」の勝利的終結と社会主義強盛大国の構想				
	金泰裕, 文聖姫	社会科学研究(朝鮮大学校)	8	00.11
社会主義の崩壊は何をもたらしたか	鈴木重靖	広島経済大学経済研究論集	23-2	00.9
一九一七年前後のロシアについての一考察	村井 淳	法学新報(中央大)	107-3/4	00.9
初期ブルードンの思想形成過程	横山清彦	法学新報(中央大)	107-3/4	00.9

89. 諸社会運動史

今田丑松と水平社創立者たち(報告)	守安敏司	LUCIFER	3	00.10
戦時下の水平社運動(報告)	朝治 武	LUCIFER	3	00.10
小岩井淨とファシズム(四)	藤城和美	愛知大学法学部法経論集	153	00.7
社会民衆婦人同盟の母子扶助法制定運動	今井小の実	キリスト教社会問題研究(同志社大)	49	00.12
福祉国家の変容と高齢者生協(上)	塚本一郎	佐賀大学経済論集	33-1	00.5
全国水平社創立宣言の同時代史	朝治 武	雑学 下之庄歴史研究会紀要	22	00.11
ピースエッグ2000と愛知県平和委員会青年・学生部の軌跡	滝田伸幸	平和運動	368	00.11
平和, 平和運動を考える(下)	須田 博	平和運動	368	00.11
*大政翼賛会	ゴードン・M. パーガー著 坂野潤治訳	山川出版社	A5.294	00.10
*地球一周航海記		ピースポート	A5.154	01.
*証言・ハンセン病	森 幹郎	現代書館	B6.274	01.1
*ノーモアミナマタの開拓者たち	丸山和彦	光陽出版社	A5.457	01.1
*孤独な探求者の歩み	高知 聡	現代思潮新社	B6.494	01.2
*日の丸がある風景	池添徳明	日本評論社	B6.209	01.2
*うたごえ愛唱歌集1000曲選 歌詞集		音楽センター	A5.517	01.3
*うたごえ愛唱歌集1000曲選 日本のうた1		音楽センター	A5.400	01.3
*うたごえ愛唱歌集1000曲選 日本のうた2		音楽センター	A5.387	01.3
*うたごえ愛唱歌集1000曲選 世界のうた		音楽センター	A5.513	01.3
*おい, きみい, 元気かね	宮崎正史他編	坪田利雄追悼集発行委員会	B6.166	01.3
*青鞥の女・尾竹紅吉伝	渡辺澄子	不二出版	B6.369	01.3
*夢二 1884-1934	河野 実, 滝沢恭司, 佐藤美子編	町田市立国際版画美術館	A5.405	01.4
*研究討論集特別報告集 2001年5月		自由法曹団	B5.217	01.5

ILO の 出 版 物 好 評 発 売 中

Studies on the Social Dimensions of Globalization

Towards a socially sustainable world economy:
An analysis of the social pillars of globalization

「社会的に維持可能な世界経済に向けて:
グローバル化の社会的支柱の分析」

グローバル化の社会的影響(資本移動, 所得不均衡, 雇用
パターン, 税制など)を分析。恩恵増幅/コスト縮小政策を提言する。

R. Torres著 2001年刊 101pp. 2,000円

Republic of Korea

「グローバル化の社会的側面: 韓国」

韓国におけるグローバル化の影響を貿易と投資の自由化、
労働市場の動向と所得の不均衡、労使関係と労働者の基本的権
利の諸側面から分析。政策課題として、機能する社会的安全網、
労働市場のニーズに応じた訓練、公正で効力のある労働法・労使
関係、コーポレート・ガバナンスを論じる。

R. Torres 著 2001年刊 74pp. 2,000円

ご注文は下記へ

ILO 東京支局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国際連合大学本部ビル8階

TEL.03-5467-2701 FAX.03-5467-2700

郵便振替 00140-2-19221番/三井住友銀行神宮前支店 普通口座3149206